

2009年度

科目名	教育実習指導(小学校)				
担当教員	三宅 奎介				
配当	教福3			コード	80005
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	1
授業テーマ	小学校教育実習の意義理解と教職への一体感の形成について				
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、小学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業です。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまともに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培います。従って、教育実習の事前授業では「教育実習の意義・内容・方法」を、事後の授業では「体験に基づく教職観」について研究し、その修得を図ります。				
成績評価法	①授業後のレポート(50%) ②教育実習終了報告書・実習校評価(30%) ③授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。				
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子著 明治図書				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	①授業の開講日に注意 ②実習手続きを確実に ③「教育実習終了報告書」の提出				
講義計画					
第1講	教職課程・教育実習の意義を理解する。				
第2講	実地研究の観点や授業指導の心得等々について理解を深める。				
第3講	実地研究の観点や学習指導案作成等々について理解を深める。 *実習手続きの指導(教務課)				
第4講	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。				
第5講	教育実習の場である小学校の学校運営について知り、実地研修の観点について理解する。				
第6講	実習計画・資料をもとに、教育活動と実習生の実務について知る。				
<教育実習>					
* 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前					
* 小学校教育実習(専任教員による訪問指導)					
* 実習終了報告書の提出					
第7講	実地研究のまとめ・発表と講評指導。				
第8講	改革が進行する学校教育と期待される教師像について考察する。				
第9講	実践アクセス講義 新任の先輩教員から学ぶ				
第10講	自らの教職志向について考える。 *「教育実習指導」学習の自己評価 *現在の学校の課題とその対策について考察する。				